

近年、増加する自然災害

近年、日本のあちこちで**自然災害**に襲われるニュースが頻繁に聞かれるようになりました。

災害に遭い、住み慣れた我が家がどうなるか心配しながら**避難**する光景を見たことがあります。他人事ではないと想えましたが、以前より多くなったと感じます。



スズカンエネルギーNEWS 第7号

～安心・安全のために～

災害への備え

様々な防災対策に加え近年の異常気象への懸念も不安材料のひとつに。LPガスで災害対策と異常気象への対策ができる!?

「衣・食・住」全てにおいて今まで通りではなくなり、別次元での生活を強いられてしまいます。こうした災害に見舞われてしまひ、当然ながら、じく普通の生活が変してしまいます。

多くの人が慣れない避難所生活になり、また車内で過ごす人や親戚など身近な方にお世話をいる人も少なくないでしょう。更に災害だけでなく、「パンデミック」状況にも対応しなければならないのが現状です。

実際に災害が起きて避難所生活が始まると、「衣・食・住」の心配に加え、**健康面や衛生面**にも注意が必要になってきており、**心身にも大きな負担**がかかる事が想像できます。

災害と異常気象

先に述べた通り、災害に見舞われると様々な状況で**不便**なことが予想できます。

その中で、近年気になるのは**地球温暖化**による**異常気象**です。

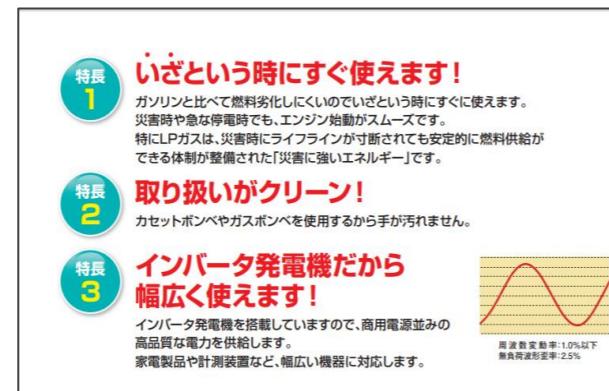
普段の生活でも、異常気象による夏の暑さは毎年、**連続猛暑**日(35°C以上)が更新されており、**熱中症**にかかる人も若男女問わず年々増えています。

また冬は、普段雪がそれほど降らないといふのも**大雪**になつて**交通障害**などが発生しています。

そんな中で災害に見舞われた場合、異常な暑さや寒さへの対策はどうしたらよいのでしょうか? 携帯用ハンディ扇風機や携帯用カイロや充電式カイロなどは手軽に常備可能ですが、「充電式」と「電気」が必要です。災害時に幸いにして自宅で過ごすことができても「電気」が使用できない状況は過去の災害を振り返つても必然的と考えられます。更には多くの人がいる避難所で「電気」の確保は難しいことが想像されます。

近年増加した災害に準じて、ポータブル電源が各種販売されており(アウトドアで使う人もいらっしゃいますね)、カセットガス式またはガス式発電機もあります。

いずれにせよ、いつおこるかわからない災害に備える上で、「異常気象」への備えも忘れて考慮する必要があるという事です。大変な時代が到来したといえるのではないでしょうか。



発行元

スズカン株式会社

〒510-0072 四日市市九の城町5番8号
電話 059-351-5131代



ホームページアドレス

<https://suzukan.co.jp>



大規模災害にも耐えられる空調

災害時には住民の避難所となりうる学校の体育館。

大規模災害時には、電気・ガス・水道のライフラインが使用できなくなる可能性が高いこと、避難所生活で今や必須の携帯電話やパソコン「コンなど」の機器や非常照明などの動力源の機能となることを考慮して、さらには熱中症対策も兼ねて、停電時でも持続稼働可能な空調整備「ガス空調

(ガスヒートポンプ=GHP)」を導入する動きがみられます。

LPガス空調であれば、都市ガスのようにガス配管のみでの供給ではなく、施設付近にポンベやバルクを設置して供給するので、災害でガス配管や電線に被害を受けて供給に支障ができる可能性が都市ガスや電気に比べて極めて低く、災害時でも稼働できる確率がかなり高いです。

(但し) LPガス供給設備が著しく破損した場合は例外)

「LPガスは災害に強い」と言われる由縁です。

また、ディーゼル発電機などに使用される「軽油」は保管期間が6ヶ月程度ですが、LPガスはほとんど劣化しません。(長期保存可能)

さりに、供給途絶や二次災害が少ない(しかも災害に強い要因です)。(但し) 大規模災害などでLPガス供給会社が被災した場合は例外)

GHPやガス発電機などには、税制優遇や補助金制度も活用できます。しかしながら、ガス空調にもデメリットはあります。

世界情勢が混沌とする現状で、各種エネルギーの高騰はLPガスも例外ではありません。

また、設置スペースや導入コストの問題、メンテナンスも定期的に必要です。

(GHPは家庭用もありますが、電気ヒートポンプからの変更や既設の家屋への取付けは新築時設置よりコストがかかります。)

災害・非常時に備えて

LPガスは、先述のとおり「災害に強いエネルギー」です。更に今では

いつものどんな災害に見舞われるかわからない昨今、非常食常備や防災設備の整備などは勿論ですが、災害時に見舞われた時に最低限必要なライフラインが確保できる状況が可能ならじれほど安心であるで

しょうか。

一般家庭では、あえてLPガスを利用のところやEV車購入、発電機の常備されているところもあるでしょう。

今や避難所指定されているところ以外でも避難所として開放することを想定して準備しているところもあります。

その一環として、LPガスを利用するのも可能性として考慮して頂ければありがたいです。

今年は暑い日が長く続きましたが、ようやく過ごしやすい気温になつて來り、時には朝晩ぐつと冷え込みようになりました。

地域によってはもうすぐ暖房器具を使用するところもあるかと思います。

ガスファンヒーターを利用される前に、接続ホースが劣化していないか、フィルター(網)が掃除されているか、フィルターを外した内部もぼこりがないか、確認してからお使い下さい。